

第12回 定例ワールドカフェ (10/15) 感想 (2022.11.10 現在)

話題提供：私たちが目指す支援一つなく

提供者：村上智子さん、下村奈々子さん (大阪府立門真西高等学校養護教諭)

当日参加者：9名

感想 (Google Form) 回答者：6名 (分野_教育4名、保健1名、医療1名)

- ・貴重なお話、ありがとうございました！つい先日受けた研修で、将来の幸福度に大きく影響するのは、10代の時の社会的つながりの有無だと仰っていたのですが、今日のお話を聞いて、本当にその通りだと思いました。幼少期の逆境体験や、不登校、学業不振などの影響よりも、社会的つながりの方が影響が大きいそうです。そして、そのつながりを持つには、援助希求やアサーションを含めたコミュニケーションスキルが必要なので、地道ではありますが、そういったスキルを発達年齢に応じて指導していくことが大切だなと感じました。
- ・下村です。この度は、発表という貴重な機会をいただきありがとうございました。初めは「普段あまり参加できていない私なんかが…緊張するし、話すほどのこと何もないし…」と腰がひけていましたが、ほかの養護教諭の方や他職種の方からのご意見をいただいたり、発表に向けて自分たちの生徒への関わりを見直すきっかけとなったり、やって良かったと思いました。いつもたくさん学ばせていただいています。どうもありがとうございました！
- ・参加者限定の貴重なお話をありがとうございました。
- ・最初は顔出しできないし、子どもの9時からの習い事の送迎あるし。で、全てが中途半端ですみませんでした。主人が門真5中に勤務していたので、西高の話はよく聞いていました。とにかく西高めざして！みたいな。保護者の薬物の話が出ていましたが、主人のクラスで生徒がお母さんが薬物所持使用で逮捕され、18歳のお姉さんがいたがために、保護者がそこにうつり、施設に入所することさえかなわない中学生がいました。なので、薬物の問題が絡むと、どうしても警察への通報なしにどこかの機関が動き、内々に助けるというのは現状では難しいのではないかなと思います。18歳を保護者にしちゃうというところがその時は問題だったんだろうな。と、今になっては感じます。つなげたことが自己満足でしかないのかも・・・これはたぶん、私たちにはつきまとう問題なのかな、、、って思います。でも、何もしないよりは何かした方がいいんじゃないかと思います。その時は考えて考えて考え抜いた答えだったんだから。警察に通報することも、ヤングケアラーだと教えてあげることも、いわゆる「普通」を教えることも必要だと思います。「普通」だと思っていた。は違うと思うので。まとまりのない感想ですみません。ありがとうございました。

(追加) お昼ご飯の件なんですけど、保健室では食べられないから、食べずに過ごすって話を聞いて、簡単ではないとは思いますが、複数配置のようなので、どこか空き教室を

週1回からでも1人の先生がついて開放されたらどうかと思ひまして。校内カフェまでは行かないですけど、そんな感じはどうでしょうか？検討済みだったらすみません。お昼食べられない子もやってくることで把握できるだろうし。中学校は必ず担任と教室で食べるので、食べるものがないの把握、食欲がないの把握って結構簡単にできるんです。食べ終わってマスクしてからならおしゃべりOKにしておけば、食べない子も自然と集まってくるかもなあ。と思ったりしました。

- ・他人事ではない今回のワールドカフェ。つなぐ支援…養護教諭の求められているものの主たるものになっていると感じる毎日です。生徒から受け取ったヘルプメッセージをどこにどんな風につないでいくかが重要で、いかに早期に対応できるかがなのかなと思ひます。そのためには、どんな方策が考えられるかという材料を自分自身に持つておくことが大切だなと常々思ひています。このカフェで多方面からの支援の方策を知る機会になれば嬉しいです。またお二人にもお会いして、いろいろお話ししたいです！
- ・組織の制約や個人情報保護の課題がある中、工夫して、状況を発信していただきありがとうございます。18年の濃さ、18年しか生きていないのに、理不尽、不平等など過酷な経験をしてきた子どもたちが多く集まっている学校で、先生方が子どもの癒やしや生きる希望を一緒に探そうと、どこからアプローチしていつてあげたらいいのだろうと途方にくれそうな気持ちを変換して、心と時間を砕いている状況にただただ頭が下がる思ひでした。人や時間に限りがある中、少しでも多くの親子を救うアプローチ（支援）ができるようになること、そのための知恵の創出と先生方ご自身も癒やされ、元気が出るつながりがもっと深く、太くできるようになるために考えて行動していこうと思ひました。